

＜平成 28 年度秋季大会ミニシンポジウム・水産教育推進委員会共催＞

水産教育の現場から次世代育成を考える

日時・場所：平成 28 年 9 月 8 日（木）13：00－17：00 近畿大学農学部

企画責任者：小島隆人（日大生物資源）・荒井克俊（北大院水）・窪川かおる（東大海洋教育）・
内田圭一（海洋大院）

13:00－13:05 開会の挨拶

荒井克俊（北大院水）

座長：小島隆人（日大生物資源）

13:05－13:25 1. 小学校理科第 4 学年単元「海のやくわり」の新設について

市川 洋（日本海洋学会担当幹事：元鹿大水）

13:25－13:45 2. 全国海洋リテラシー調査からみえる小中学生の水産の理解度

窪川かおる（東大海洋教育）

13:45－14:15 3. 実習航海がもたらす人材育成

川崎 潤二（水産機構水大校）

14:15－14:25 休憩

座長：内田圭一（海洋大院）

14:25－14:55 4. 水産・海洋系高校教員減少を現場から考える

－水産科教諭が語るその魅力とは－

長岡智子（京都府立海洋高校）

14:55－15:25 5. 私立大学における水産教員養成の現状

小島隆人（日大生物資源）

15:25－15:55 6. 海洋大の新学部設立と水産教員養成の動向

酒井久治（海洋大院）

15:55－16:05 休憩

16:05－16:55 総合討論

座長 内田圭一（海洋大院）

16:55－17:00 閉会の挨拶

小島隆人（日大生物資源）

企画の趣旨

水産教育推進委員会では、昨年度から大学における水産教育の充実化や、水産分野におけるキャリア教育について議論してきた。こうした中、初等教育の中で「海」というものが見直されようとする一方で、水産海洋系高校では、慢性的な教員不足に悩まされている。

これからの水産教育をリードする人材の確保には、その現状把握と対応策の検討が必要となる。そこで、各教育段階における水産に関する教育の現状を把握しつつ、水産海洋系教員の育成を取り巻く環境について議論することで問題解決の糸口を探る。